

添付書類 1. 事業内容、事業の成果に関する写真

活動 1 : 対象集落の住民の水・衛生問題解決の能力向上のため住民組織を設立し、ワークショップを実施する

CAP (Community Action Plan) ワークショップ



ロロトエ準県デユデット村における CAP ワークショップ (水・衛生に関する問題についてのグループ・ディスカッションを通じて、住民の問題意識を養い、問題の原因と解決方法を探る手法)にて事業地住民へ説明を行う様子



バリボ準県ライウルン村における CAP ワークショップ内で住民がグループワーク (写真では水回りに関する女性の役割に関して協議している)を行う様子

活動2：対象集落に水供給システムを建設する

実地調査



カイラコ準県ライヘウ村における水供給システムの距離測定の様子（写真は蛇口の位置をGPSで測っている所）そこから得られた情報を用いて設計が行われる。



上記の蛇口のGPS座標を用いて設計された水供給システムの一部（写真内のPT2が上の写真の場所）



カイラコ準県ライヘウ村受益者が水源で貯水壁を作る様子

活動3 対象集落の住民の行動変容を通じて、保健衛生に関する習慣を改善する

CLTS (Community-Led Total Sanitation) 活動



カイラコ準県ライヘウ村受益者が集落の地図を用いて、彼の家族の屋外排便の場所を示しているところ（受益者の持っている黄色い粉が便を象徴している。緑の紙が家屋、オレンジの紙がトイレ、ピンクの紙が公共の場をそれぞれ表している）。



バリボ準県レオヒト村で受益者の少年が図を使い屋外排便における問題を他の受益者に説明する様子。写真ではハエや、汚れた手、汚い屋外で遊ぶ幼児などが、屋外排便された便を拡散しうる媒体になる可能性がある事を図を用いて説明している。

トイレの設置のモニタリング



カイラコ準県ライヘウ村にて受益者が設置した簡易トイレ（日本で言う「ぼットン便所」である）